

機密第一〇〇九〇〇番電

宛 關係各指揮官

一 各所屬艦艇乗員ニシテ其ノ乗艦事故ノ爲佛印ニ上陸シアルモノハ左

ニ依リ行動スベシ

一 便船アル毎ニ各艦艇先任者統制ノ所在地指揮官ノ指示ニ依リ内地ニ歸

投ス

三 滯留中ノ防衛ニ關シ第十一特別根據地隊司令官ノ指揮ヲ承ク。

通一〇七五九 呂一〇ラ一八(一三五二〇) 高雄 津(川口)

三 第二送信所製備ノ九五式短四號送信機三臺ノ電源ハ電動發電機ニシ
テ長時間ノ運轉ニ不適ナルヲ以テ整流器換裝
四 九二式特受信機五組増備

局長	緊	平泰	王東	赤坂	川
一課長
...
...
...
...



第一護衛艦隊口、第九〇一空
 第九〇一空マニラ、ラオアグ各派遣隊
 第三一通信隊第五分遣隊
 電一三九六
 電一〇一七
 電一〇一五

機密第二三〇二二五番電

發 サンフエルナンド派遣隊手崎大尉

一、砲爆撃ニ依リ基地施設破壊、飛行機全機炎上

二、暗號書、機密物件焼却処分セリ

三、全員一〇八名ヘラオアグ行十七名ヲ含ム内先ナガ上整行 不明

四、目下ミノマキ海軍大佐ノ指揮下ニ入り見張警戒ニ從事中、今後ノ行

動ニ關シ指示ヲ得度。

片山、太田

20. 1. 24

B文航作
概
二庫本〇

1161

通一三二九二

呂一Bケ三(六二三五四)一〇

楳永(五三)

宛 人事局長 軍務局長 大海參一部長 佐世保人事部長
 ペナン防衛兵力極メテ不足ノ現状ニ於テ第十一潜水艦基地隊ハ同地陸
 上防衛上最モ重要兵力ニ付將來情勢ニ應ジ基地隊ヲ廢止セラレルル如キ
 場合アルモ現兵力存置方配慮ヲ得度。

作

至急

一二五

受信開始 〇〇二〇二六

譯了 〇二三四 電一七二〇

作概 〇

東京通信隊

一南遣艦隊

機密第一三四	五	根	佐世保通信隊
三〇	一	四番電	赤坂
J	C		赤坂
G	H		赤坂
F			赤坂

20. 7. 25

至急

一 二五 受信二〇五〇 譯始二一〇二〇〇 譯了二二二四〇 電二二〇八八

航本・聯空 作概〇

練 聯 空 總 隊



機密 第二五三三八番電

陸 參謀長

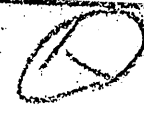
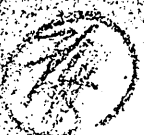
上海海軍航空隊二月一日附解除ノ豫定左ニ依リ進備ヲ進メラレ度

(1) 在上海海軍航空隊三八期ヲ青島海軍航空隊へ四一期ヲ高知海軍航空隊へ三九期四〇期ハ聯合航空隊内各隊へ分散

(2) 上海海軍航空隊三八期三九期ノ二〇%及右以外ノ各隊練習生ハ上海空ヲ含ムノ一二%ヲ信ハ特ニニ變更

通一三七〇六 呂一Bケ三一B横通 石毛一飯 出

20. 1. 26



一 二七 受信一八五五 譯了二二一五 電一三〇五一 航補人◎

● 練 聯 空 總 隊

● 一 三 空

● 人 事 局 ・ 一 三 聯 合 空

暗號軍

機密第二七一五四一番電

貴麾下各隊ニ配屬中ノ偵察員ヨリ特別攻盜隊搭乗員一銀河・偵・電
一任務適任者六〇名選抜ノ上今一應人事局宛電報御通知アリ度。


通一四七一八 呂一六々三(呂) 機放

海

多部
十部
課

1914

人

局長		三九
一課長		三九
		三九
		三九
		三九
		三九
		三九
		三九

● 機密・東京灣西航路警備
 ● 海上護衛艦隊・九〇三空・坂巻

暗號
極秘

機密第二九〇二一〇番

本軍將旅ヲ五〇號海防艦ニ移揚ス。

第一五八〇七 天二〇〇三二一五

海軍

海軍

第十課

20. 1. 30

二 三 受信開始 〇〇五九六 了 〇〇四〇 電 〇〇一〇七一 作機 〇・航本

至 急



南 西 方 面 艦 隊 P
聯合艦隊 三 一 根

機密第 〇二〇九四〇番電

發 九五五空司令

九五五空ハ本部ヲMMニ移シ一部派退隊ヲ「ブエルトプリンセス」(指
揮官岩島大尉)ニ存置セリ小官三一特別根據地隊ニアリ。

通 一二二二 天日ヲ十二(四七)五KC(高通

田原(參見)

20. 2. 3.

緊急

二 二 受信一七五四 譯始一八一〇 譯了二八五五 電〇〇九二一

航作本・參概本〇

第一聯合基地航空部隊



發宛 參謀長

通報 アバリ連綴基地隊

高雄へ轉進スベキ當隊搭乗員ノ殆ド全部ハ既ニ空輸シ終リ其ノ他航空要員ニシテ二月十日頃迄ニルソン北部ニ輸送シ得ルモノ約六五〇名ニシテ其ノ大部分ハ驅逐艦輸送中止ノ爲目下「アバリ」ヨリツゲガラオニ引返中ナリ當隊トシテハ之ガ轉進ハ専ラ空輸ニ依ルベク準備中ナルヲ以テ差當リ潜水艦ハ陸軍搭乗員輸送ニ充當セラレ度尙陸軍搭乗員數等ニ付テ四航軍ニ照會中。

日一〇七九 日一〇二六五(一) 清水(吉)

20. 2. 3-



二
三

受信
開始
一三
三五〇

譯了
二二〇〇
電〇二六八六

航作
橋本〇



至
急

聯合艦隊

三
一
根



機密第〇二一五四五番電

發
九五五空司令

當隊ルソン全線偵察中ニ未歸還機計三機ヲ出セシモ二機分ノ搭乗員ハ
生還セリ一何レモ危篤絶望ナリ且ニ内一名死去セリ一機ハボタン半
島ニ衝突一機ハ島内ニ不時着セルモノナリ共ニ陸軍ノ援助ヲ受ケ。

（東通註 本電誤字極多テ多ク再送ノ爲遲延）

通一四四二

呂一Bラ十八一二二八〇KO

五三十一通
分遣

奥山（山中）

20. 2. 7-

二三 受信二〇八一五

譯了二一三〇

電電電
〇〇〇
一一四
〇五五
〇七四

作
〇

共

符

作

佐鎮擔任區潛水艇行動報告着信監所
東京、佐世保、吳各通信隊

機密第〇三一二三五番電

三分ノ二二三

第一特別基地隊司令官

大臣 總長 長官 吳鎮長 佐鎮長 沖根司令官

通報 第四海上護衛隊司令官 門司在勤武官 伊萬里在勤武官

左ノ豫定ニ依リ甲標的E型三基佐世保經由沖繩ニ向ケ進出セシム

一 編制指揮官大尉神山正之甲標的 第二〇一號 (中尉勝又祐一) 第二〇

二號 (中尉飯田和信) 第二〇三號 (中尉三笠清治) 嚮導艇芙蓉丸 (

指揮官整備長下士官七名兵五名乘艇) 二月三日吳基地發長島日宇

部五日穴連六日博多七日川内八日佐世保爾後樺島串木野山川西浦切

石名瀬山村和御前埼ヲ經由運天ニ回リ日時從報 使用速力 (八節)

通通通
一一六六六
四二二
九四一
呂一Bケ四 (B) 吳通
笹生 (濱) (一)

櫛木晝間浮上航走夜間假泊
 三味方識別 甲標的中央日ノ丸前後部ニ各々白線ニ
 四途中警戒保安ニシテ御座願ヲ得度。

Handwritten notes at the top right of the page.

二三四
受信二二四五
開始〇〇三七

譯了〇二三五 電〇一六三二

作概〇
艦政・潜艦

至急

共符



機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所
機密第〇三三三三	佐鎮擔任區潛水艦行動報告着信艦所

發 第一特別基地隊司令官

指揮官

宛 大臣總長 G P 司令長官 吳鎮長官 佐鎮長官 沖繩根據地隊

通報 第四海上護衛隊指揮官 門司在勤武官 伊萬里在勤武官

左ノ豫定ニ依リ敷設標的 T 型三基佐世保經由沖繩ニ自力航行進出

セシム

一 編制指揮官大尉神山正之敷設標的 第二〇一號 (中尉勝又祐一)

第二〇二號 (中尉飯田和信) 第二〇三號 (中尉三笠清治)

通一七四一 呂一 B 夕四 (四九一五 RC) 佐通放、齋藤 (淺岡)

20. 2. 4.

1922

作戰緊急

二三 受信 一七二〇 譯了 一八三三

電〇一三八三 航作機本〇

傍

ツゲガラオ航空基地

第一聯	第二聯	第三聯	第四聯	第五聯	第六聯	第七聯	第八聯	第九聯	第十聯
...

二分ノ一二

下

發 江村中佐

宛 參謀

一〇 F G B 機密案〇一二二三三一 番電關聯

一海軍

(イ) 二四挺

(ロ) AF 搭乗員二〇

(ハ) 高等科整備員三五

通 一五九〇、一五九一 月二日ラ十八

一〇二六五 KC 一〇 F G B V
櫻井、片山、小野、田

(三) 普通科整備員七〇

(四) 電信員一〇

(五) 其ノ他無章ノ主計科醫務科ヲ含ム一八三名右人員ツゲガラオニ明日迄ニハ集結完了ノ豫定

二 陸軍（比島）四航軍竹森參謀ト交渉ノ結果

(イ) 搭乗員七〇名

(ロ) 整備員（工員ヲ含ム）五〇名

(ハ) 電信員三〇名

(ニ) 其ノ他一九〇名時ニ輸送ヲ要セス

右人員ボトリナヲニ集結中

三「アバリ」ハ輸送ニ不適設備撤去ボトリナヲハ揚搭設備完備

ノ下認メラルルニ付此ノ際各艦至急左記人員増員ノコトニ取計ハレ
度追テ舊第五艦隊司令部ヨリ充當ヲ可ト認ム

一 參謀一名（ナルベク水雷主務參謀）

二 電探技術士官

三 電信長

四 特信班員（現員〇）

五 電信員一〇

人 比

作

二六 譯始一七二五 譯了一七五八 〇二七五六 作 〇

緊急

三 一 根 〆

● 第三南遣艦隊一二移動通信隊
● 南西方面艦隊尸。?
〔通報表示〕 南西方面部隊情報着信艦所

機密第〇三〇二二一番電

四日二三〇〇頃戰車二乃至四右ハ迫撃砲ヲ有スル敵「バラナク」方
面ニ來襲相馬中隊之ト交戦（中隊長小隊長戰死）敵ハ橋ヲ奪取侵入
セルモ機ヲ失セズ火工兵器ノ集中射撃竝ニ一個中隊ニモ拘ラズ斬込
敢行〇一四〇之ヲ擊退セリ橋ハ直ニ爆破ノ豫定。

通三一七五 於十三（七五六五KC） 1 G F G B F 富田（森 田）

20. 2. 7

人



二五

至急親展

電話一八二六
電話二一一五

電話二三三三

電話〇二二三三六

練習航空
教育航空本

東

通



共

符

機密策〇五一四三五番電

三分ノ一

發 高雄警備府司令長官

宛 次官 次長

當方面ニ於ケル練習航空隊教育ノ實情ハ高警機密策二四一〇四九番電
及第三〇一六五二番電ノ處ニシテ此ノ上教育實施ハ至難ナル外加ナル
ニ一方戰局逼迫ハ此ノ際全力陸戰配備ヲ促進セザルベカラザル情況ニ
アリト認ム依テ戰勢ノ推移ニ依リ將來教育ヲ再興シ得ルニ至ルマデ一
時全面的ニ練習生教育中止ス。

（電信課註 本電二三未着）

二六九一

1927

人

緊急

二六
特信一七七一〇
開始一七四〇

譯了一八四六
電〇二七六五

令作
特信〇

三一通第五分遣隊

第三南遣艦隊P・第八移動通信隊

依

大海特務班・高警・第一航空艦隊P。各艦隊各鎮各警各參謀長

機密第〇六一二二〇番電

發 南西方面艦隊參謀長

在「ホウガボン」第三一通信隊特信有章兵（約五〇名）及特信關係

准士官以上（八名）ハ全部一A司令部附ニ一時轉勤「小コウ山」

方面ニ轉進セシメラルルニ付便 宜「ツゲガラオ」「バタリナオ方面

ニ進出シ臺灣行輸送便ヲ待タシメラレ度。

通三一六三 呂ニブラ十八（一三五二〇K）高雄 相澤（森田）

20. 2. 7

人

二六 受信一四二四 譯始一六一〇 了了一六四〇 〇二七四四 作概

傍

南西方面艦隊 一航空艦隊 三南遣艦隊

機密第〇六一三〇二番電

發 聯合艦隊參謀長

貴方面ニ於テ拔群ナル功績アリタルモノハ取敢ズ表彰シ感狀授與
ノ價値アルモノハ其ノ旨當方ニ報告アリ度當方ニテハ簡單ナル資料
（戰鬪概報詳報表彰狀等）手續ニ依リ速ニ感狀ヲ授與セラルルコトニ
取計ヲ豫定。

通三一三 呂一八十八 B 石毛（増田）

20. 2. 7

二 一〇 受信 〇〇五〇四五 譯了 〇六五〇 電 〇四三八八 災病 ◎

● 聯合艦隊 横 鎮 ・ 氷川丸

● 一南遣艦隊 横



機密第 〇九一七二六番電

- 一 作戰上ノ都合ニ依リ一〇一病勤務中ノ日赤看護婦五四海軍看護婦
- 一 一月中旬氷川丸ニテ内地歸還セシム
- 二 一〇一病在院患者ハ現状一〇〇〇名ニシテ現定員ニテハ病院職務遂行上ノ支障極メテ大ナリ
- 三 右對策トシテ氷川丸ニ乗組衛生兵曹衛生兵中ヨリ一〇一病ニ一時轉勤セシメラレ度。

通四九三五 天一Bラ一ニ(六二三五)一〇通

海軍

稻葉(金森)

20. 2. 11

至 二
急 一一
三二



受信開始
〇〇四一
〇五
譯了〇四四八
電
〇〇五五
二二六五
六一

航作
概本〇

東	平春	赤城
一評長	三勇	小
機密第一	通	崗
一七四八番電	三	山
三分ノ一、二、三	小	司
	令	部

機密第一 一七四八番電 三分ノ一、二、三

發 一 A F 參謀長

宛 聯合艦隊參謀長

通報 大海參一部長 航空本部總務部長

一、在菲島當隊要員ノ菲島臺灣間作戰輸送ハ操縦員ノ關係上九日ヲ以テ

一應打切、シ聯合艦隊電令作第四七九號ニ依リ橫須賀航空隊派遣隊

ヲ原隊ニ復歸、シム

ニ自一月九日至二月九日右作戰輸送人員左ノ通

通 五五九八
五五九八
五五九八

呂 一 B ケ 四 (四七四二、五五〇) 五 F G B

田原 (福岡)
東野 (淺岡)

20. 2. 12

(イ) 使用機種 延機一式陸攻五機 零式輸送機二機 月光二機 天山二機 機瑞雲一機 零式水偵五機 計八二機

(ロ) 輸送人員 搭乗員 准士官以上一二八名 下士官兵五四二名 整備員 准士官以上三〇名 下士官兵一八七名 司令部關係員 電信員 其ノ他一一一

計一〇六〇

(ハ) 被害一式陸攻九機 自爆五七〇二飛行隊一未歸還五七〇二飛行隊二 豊橋航空隊一破損五七〇二飛行隊二 豊橋航空隊一不時着 横須賀航空隊一不時着 横須賀航空隊一機第一〇二一航空隊一機一零式輸送機不時着一零式水偵被彈不時着一戰死搭乗員二四 便乗者五四 右ノ外協力飛行隊中地上被爆ニ依リ大破炎上セシモノ 横須賀航空隊一式陸攻二機

三次回作戦輸送ハ十八日開始ノ豫定ニテ現在ツゲガラオ

左記殘留シアル要輸送人員尙二五〇名(既計畫ニ依リ潜水艦輸送人員ヲ含マズ) 近日同地着豫定ノモノ四四〇名 計六九〇名(整備員電信員六〇ニシテ搭乗員ナシ)ニシテ今後「クラークル」方面ニ對スル

(二)

常續的物糶投下セズ（現地要望量彈藥ノミニテ約七五屯一當隊兵力ノ獨リ能クスルトコロニアラザルヲ以テ協力兵力ニ關シ改メテ考慮相煩度。

【東通註 G.F.へ通報處理濟シ】

20. 2. 12

目